

目に鬼籍に入れり。本氣腫の成因は、創孔面に於ける内外氣壓の差違、又は皮下結締間隙の鬆粗性及筋膜の伸展状態等の解剖學的關係にして、外傷性氣腫の成立機轉に關しては、氣管切開創より直接に空氣が皮下結締織内に侵入瀰漫せし場合と、氣管内に血液を吸引し又は手術の刺戟による激烈なる咳嗽發作のため肺胞が破裂して氣腫を生ずる場合とあり。前記2例に就いて觀るに、手術は比較的容易に終了せるに拘らず、術後氣腫の發來せしは、術直後に起りし連續的咳嗽發作により、氣管切開創孔のみならず肺胞又は小氣管支の破潰によりかかる廣範圍の氣腫を招來せるものと思ふ。(小泊抄)

### 急性化膿性中耳炎に對する A.D. カプサンの局所的應用

廣 齋 壯 良

耳鼻咽喉科 15 卷 12 號 1025 頁

現今 A.D. カプサンなるもの急性化膿性中耳炎の治療に卓効あること認められ來る。

A.D. カプサンの成分は肝油 95%, カプリン酸 5% よりなる。使用法は急性化膿性中耳炎ありて既に穿孔あるものでは耳漏を拭き、又未だ穿孔なきものでは鼓膜切開を行ひて排膿を充分ならしめて後耳用ガーゼに A.D. カプサンを滲ませて挿入す。ガーゼは毎日交換す。尙補助療法として冷電法を施すべし。使用後の成績は平均し 10 日前後にして全治するもの多し。本劑使用上注意すべき點は外聽道内に長時間ガーゼ放置する時は分泌物増加し、又耳漏著しく減少し乾燥に近きものに長時間放置すれば鼓膜穿孔縁表面に膜樣凝固物發生し再生をさまたげる如き點ある爲本劑を滲ませたるガーゼは毎日交換せざるべからず。本劑使用後の成績よりして本藥劑の作用機轉はカプリン酸の殺菌作用と肝油内に含まるる V.A, V.D. の化膿防禦及表皮保護等の癒創作用との共働作用ある爲急性化膿性中耳炎に著効を來したものと信ず。(林抄)

### 膿瘍時扁桃摘後に併發せる嚥下性肺炎の

#### 一例

谷 豊  
熊野武雄

耳鼻咽喉科臨床 37 卷 12 號 1088 頁

患者は 33 歳の女、咽頭痛及發熱を主訴として訪れ、局所は左頸部に瀰漫性の腫脹並びに牙關緊急を認め左口蓋扁桃は發赤腫脹し、後口蓋弓の下後方まで又同様なり。試験穿刺で膿汁證明し得ざれども左側扁桃腺

周圍膿瘍の診斷のもとに扁桃腺摘出術施行す。手術時靜脈性出血稍々多量で深部に小膿瘍隠れ存せり。術後度々出血ありたるも燒灼により容易に止血したれども 5 日目に到り惡寒と共に發熱並びに相當の咳嗽あり、6 日目より銹色の喀痰出で始め、胸部に小水泡性囉音を聴取出來レ線上氣管支肺炎あるを證明し得特に左胸部に於いてその變化著明なり。

著者はこの珍らしき合併症をおこしたるは、衰弱せる患者に施行せる上に扁桃腺周圍の組織が炎症の爲止血しにくき事と、手術後苦痛が甚だしく輕快するので熱睡中案外多量の血液が氣道に間違つてはいりたるものならんと考察せり。(津田抄)